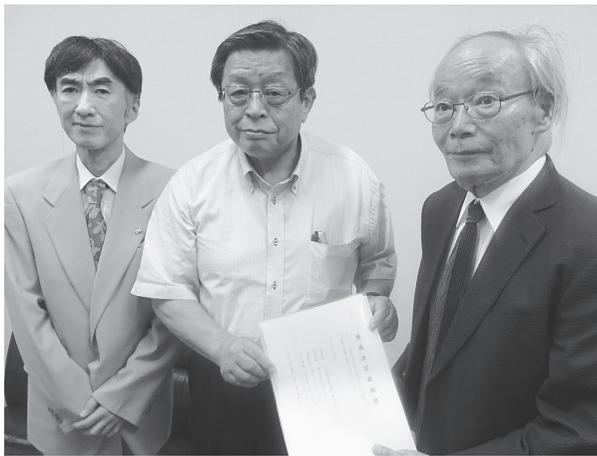


大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

堺市長選

# 竹山おさみ候補を支持・推薦

堺・高石・和泉地区 都構想反対・「市民目線」を評価



竹山おさみ候補(中)に推薦決定通知書を手渡す堺・高石・和泉地区の山上紘志責任者(右)と江原豊理事(左)

堺市長選(9月24日投票)へ向け、堺・高石・和泉地区は現職市長の竹山おさみ候補(無所属)の支持・推薦を決定し、3日に開かれた協会の第4回総務会で承認された。同地区は竹山候補の都構想反対や市民目線の市政を評価している。

堺・高石・和泉地区は2017年度地区活動方針に基づき、堺市長選挙への取り組みを協議。立候補を予定している竹山おさみ(無所属)、永藤英機(大阪維新の会)両氏に対し、政策を問うアンケートを実施した。竹山候補は「大阪都」構想に反対の立場にあり、カジノよりも「地域に根差した住民福祉の向上に取り組むべき」と回答。子

また、8年間の市政において、政令指定都市としての権限と財源を最大限活かしながら、▽国保料の8年連続値下げ▽38人学級の実現▽幼稚園・保育園・子ども園の第3子以降の無償化―など「市民目線」の改革を進めてきたことを評価。会員の要求実現に最も近い候補者であるとし、支持・推薦を決めた。

政策アンケートは、①大阪都構想②国民健康保険行政③子ども医療費助成④口腔保健施策⑤カジノ誘致の5項目について質問した。竹山候補は、都構想について「政令市の権限と財源を吸い上げ、医療・福祉などの住民サービスの低下が懸念される。百書あって一利なし」と反対を表明。また、子ども医療費助成については、18歳以下(高卒程度)までの助成対象拡充を検討するの回答した。口腔保健施策については、独自に策定している「堺市歯科口腔保健推進計画」を進めるなかで、協会の求める条例

の制定を検討するとし、永藤候補からは回答がなかった。同地区では、市長選挙を軸に引き続き、国保問題、子ども医療費助成のさらなる拡充、口腔保健施策の充実などを求め働きかけを強めていく。(5面・候補者アンケート回答、6面・争点解説)

検査の是正▽子ども医療費助成の無料化と所得制限の撤廃―など。歯科健診では、要介護・要支援者への実施や、歯周疾患健診の拡充を求めた。要望書は会員から寄せられた意見を基に4地区合同の役員会で検討し、取りまとめた。協議は2011年から毎年実施しており、子ども医療費助成の対象年齢の引き上げや、市が発行するポスターの全医療機関配布、学校医療券の運用改善などが実現している。

2018年3月末で閉鎖される市立吉市市民病院については、同病院が小児周産期医療の重要な役割を担っていることから現地で建て替えを要望した。4地区は要望書に対する回答を踏まえ、今後、市と協議することになっている。

昔の戦艦や巡洋艦とは違い、自衛隊の艦船は護衛艦などの名称になっている。旧帝国海軍には詳しい元軍国少年の私にも、この目で見ないと公開資料からでは艦種も規模も見当がつかない。第二次大戦の戦禍に懲りたはずの人類がまたしても軍備拡張の競争を始めつつある。人種差別意識も消えて穏やか顔の外国からの観光客も増えたのに、各国のリーダーの目付きは鋭い。

舞鶴の「引揚記念館」へは日帰りで行ける。これまで3度も訪館したのは私自身が引揚者だからか。今回は「海軍ゆかりの港めぐり遊覧船」付きで、海上自衛隊基地を見学。昼食は海軍カレーの安物ツアードだった。食い意地のはっている妻は誘わずに参加した。

## 2018 診療報酬改定 視点



全身の健康の維持・向上へ歯科の重要性が高まるなか、診療報酬上の評価は依然として低いままになっている。2018年度診療報酬改定の課題や歯科の評価の在り方などについて、全国保険医団体連合会の田辺隆副会長に寄稿してもらった。

全国保険医団体連合会副会長・田辺隆

歯科における不合理については、様々な観点から考えなければならぬ。①基本診療料における医科歯科格差、技術料の多くが依然として低い評価であること②歯科医学的に確立された技術で、患者にとっても有益な診療項目が包括の各の

もここに廃止されたこと③麻酔に係る回数制限や同一術野・同一病巣の制限―などが挙げられる。歯科・歯科の基本診療料の格差は正の問題は、過去、抜本的な解決にながらうような見直しは一切されなかった。良質な歯科医療を提供するため

料費分を引いた段階で、すでにマイナスの項目が数多くある(表)。特に、抜髄や感染根管処置などの歯内療法、つまり歯を残すために重要な「処置」や「歯冠修復・欠損補綴」の項目に低い評価が散見され、このような日常診療で行われる技術

には、改定財源を確保した上で、初診料、再診料の医科歯科格差を是正することが不可欠である。また、「歯保連試算2016」を基に歯科医療技術の評価の現状をまとめてみると、現行の保険点数から換算した医療材料の抜本的な引き上げが求められる。過去の改定において、診療報酬の簡素化名目と点数の枠内操作のために廃止された項目(ラバーダム防湿歯肉肉除去手術、補強線等)について、歯科医学的に確立された調整など一初診中の算定

に制限があるものは、臨床の実態に即して制限を廃止し、必要に応じて行われた治療行為はその都度正当に評価されるべきである。特に「一初診中に1回」の取り扱い、長期的に継続して患者を診ていくという現在の歯科医療の考え方、歯科治療の危機的経営状況の改

これら不合理の早急な是正こそが、患者に安心、安全かつ有益な歯科治療の提供と歯科医療機関の危機的経営状況の改

善につながるものと考えられる。(つづく)

表 歯内療法保険点数は採算割れ

	① 保険点数	② 医療材料	③ 試算額	①-②	①-③
抜髄(単根管)	228	404.7	807.7	-176.7	-579.7
抜髄(2根管)	418	404.7	999.3	13.3	-581.3
抜髄(3根管)	588	404.7	1156.9	183.3	-568.9
抜髄(4根管)	588	404.7	1617.7	183.3	-1029.7
根管貼薬(単根管)	26	378.4	601.4	-352.4	-575.4
根管貼薬(2根管)	30	378.4	646.4	-348.4	-616.4
根管貼薬(3根管)	40	378.4	776.0	-338.4	-736.0
根管貼薬(4根管)	40	378.4	967.4	-338.4	-927.4
加圧根充(単根管)	130	254.0	597.0	-124.0	-467.0
加圧根充(2根管)	156	254.0	750.1	-98.0	-594.1
加圧根充(3根管)	190	254.0	809.2	-64.0	-619.2
加圧根充(4根管)	190	254.0	1051.0	-64.0	-861.0

「歯保連試算2016」から保団連が作成(※②③は点数換算)

## 採算割れ多い現点数

「歯保連試算2016」から保団連が作成(※②③は点数換算)

「歯保連試算2016」から保団連が作成(※②③は点数換算)

## 大阪市へ要望書を提出

市内4地区 子ども医療の無料化など求める

市内4地区 子ども医療の無料化など求める

## 指導対策テキスト発行

今号に同封

今号に同封

## 今日の数字

12万3831人

12万3831人

## 歯界

舞鶴の「引揚記念館」へ

舞鶴の「引揚記念館」へ